

緑のカーテンを作ろう！

○ 緑のカーテンとは？

ゴーヤーやアサガオなどのつる性植物を使って建物の窓を覆うことで、夏の強い日差しをさえぎると同時に葉っぱから出る水蒸気でまわりの温度を下げる自然のカーテンのことです。



○ 緑のカーテンの効果

- ・エアコンの使用頻度が減るので省エネ効果があります。
- ・省エネ効果でCO₂を削減し地球温暖化に貢献できます。
- ・日差しを遮るだけでなく葉から蒸散するので、日差しを遮るだけの簾よりも涼しくなります。
- ・花を見て楽しんだり、作物を収穫した作物が食べられたりといった様々な利点もあります。

○ 緑のカーテンに用いる植物

ゴーヤー(ウリ科)



アサガオ(ヒルガオ科)



○ 時期の目安

	種まき	植え付け	ネット設置	収穫・開花	片付け
ゴーヤー	5月上旬	5~6月	5月下旬	7月上旬~9月	10月
アサガオ	5月	6月	6月中旬	7月下旬~10月	10月

用意するもの

材料はホームセンターなどで簡単に手に入るものを使用します。

☆ 苗

ゴーヤーやアサガオなどのつる性植物(1年草)を用います。

1年草を用いるのは、寒い時期に葉を落とすことから冬でも暖かい日差しを取り入れることができるためです。

☆ 土・肥料

土は野菜用の「培養土」がオススメです。(ゴーヤーは酸性の土を嫌います。)
また追肥として野菜用の化成肥料を定期的に与えると大きく成長します。



☆ プランター

設置場所に合わせてなるべく大きく深いプランターを選びましょう

※地植えが出来る方は地植えの方が元気に育ちます。(根が広がるので管理にはご注意ください。)

☆ 鉢底石

水はけを良くするために小石などをプランターの底に敷いておくといいでしょう。

☆ ネット

設置スペースに合った大きさのネットを選びましょう。(網目は10cm程度がオススメです。)

☆ 支柱

ネットを固定するのに使用します。



☆ 重石

風の強い場所ではレンガやブロックなどでネットを固定し飛ばないように工夫しましょう。

※種から育てたい方は…

アサガオ の場合

種を砂を入れたペットボトルなどに入れてよく振って傷をつけ、植える前日に一晩水につけて水分を含ませてから植えましょう。



ゴーヤー の場合

発芽しやすくするために種のとがった部分を爪切りなどで少しカットします。

水で浸した容器に入れ発芽を待ち白い根が出てきたら根を下にして植えましょう。芽が出て少し成長したら間引きをしましょう。



作り方

①土の準備

まず、プランターに水はけを良くするために鉢底石を敷きます。
次に押し込まずふんわりと空気を入れるように土を入れます。



②苗をプランターに植え替える

ポットから根を傷つけないように優しく、プランターに植え替えます。
苗と苗の間隔を、アサガオは12～15cm、ゴーヤーは20～30cmあけてください。
(地植えの場合はもう少し間隔をあけるとよいでしょう。)

③水やり

プランターは水の蒸発・流出が早く、伸び盛りになるとよく乾くので
水切れを起こさないように水やりは毎日しましょう。(真夏は朝と夕方の2回すると良いです。)
雨水をためておいたものやお米のとぎ汁などを使うと環境に優しいですね。

④ネットを張る

つるがある程度伸びてきたらネットを設置します。
この時、支柱や重石を使ってネットを固定します。
ビニールテープなどでつるを誘引してあげましょう。



⑤追肥

★化成肥料:3週間に1回程度、株の根元からなるべく離して与えます。
★液体肥料:原液を薄めて、1週間に1回程度、水やりの代わりに与えます。すでに栄養不足で弱っている時は、霧吹きなどで葉に直接散布するのも効果的です。
(肥料のやり過ぎは枯れの原因となる恐れがありますので、ご注意ください！)

⑥成長したら...

つるが広げたい所まで伸びてきたら先端を切ります。(摘心)
すると横から子づるが伸びだし全体に広がり、より緑のカーテンらしくなります。
花や実がなりだしたら見たり食べたりして、楽しみましょう。

⑦片付け

秋になり涼しくなってきたら片付けましょう。
種がとれたら風通しの良い冷暗所で乾かして密閉容器に入れて
冷蔵庫などに入れておくと良いでしょう。



ネットの設置、落ち葉の掃除など、
周りの迷惑にならないよう管理しましょう。



気をつけること

□ 害虫対策

- ・ アブラムシ → アブラムシ用防虫スプレー等を散布する、活力剤を与える。
- ・ ハダニ → 付着部分を水で流す、ハダニ用防虫スプレー等を週一回散布する、
活力剤を与える。

□ 病害対策

- ・ ウドンコ病 （葉や莖がうどん粉をかけたように白くなります。）
→ 乾燥時や風通しの悪い所でなりやすいので水を散布したり風通し
を良くして予防する。
→ もし、病気にかかってしまったら殺菌剤で消毒しましょう。



□ 連作障害

同じ場所に同じ種類の作物を毎年続けて作付けすることで、作物の生育が悪くなることを指します。

□ 栄養障害

※これらの詳しい対策は園芸店などでお聞きください。



エコバックん
レジ袋等の削減推進シンボルキャラクター